

第1学年2組 特別の教科 道徳 学習指導案

<主題名> ともだちのことをかんがえて (読み物教材「二わのことり」)
【内容項目 B 友情, 信頼】

<主題のねらい(資質・能力)>

- 困っていたり悲しんでいたりの友達に思いを向け、助けることの大切さを理解させる。〔知識・理解〕
- どのように考え、行動することが友達のために大切なのかを考え、判断し、表現する力を培う。〔思考力・判断力・表現力〕
- 相手にとってよりよい姿を観点に、「友達についての考え方」や「友達を大切にする行動の仕方」について学んだことを振り返り、友達を大切にして生活しようとする実践意欲を高める。〔主体的に学習に取り組む態度〕

<本時で働かせる見方・考え方>

- ① 「二人でお誕生日のお祝いをしたこと」のよさの度合いに着目して、道徳的価値「友情, 信頼」の意義や本質について、経験を想起して考えたり、多面的・多角的に考えたりする。
- ② 「うぐいすの家をこっそり抜け出す姿」に着目して、①で学んだ「友達のために大切にしたいこと」を実現するための具体的な行動の仕方を考える。

<主題設定の理由>

当学級は、困っていたり悲しんでいたりの友達に気づき、目を向けることができる子どもは多いが、実際に何とかしようとする行動できる子どもは限られている。「困っている友達を助けること」の大切さを観念的には理解しているが、「助けなければならない」という思いまでには至っていない子どもが多い。また、どうすることが友達の助けになるのかということを考える経験をそれほどしてきていない。

そこで、本主題では、「困ったり悲しんだりしている友達に気づき、目を向け、積極的に行動することの大切さ」の理解を深めるとともに、「どうすることが友達の最もよい助けになるのか」について考え、具体的な行動の仕方として判断する力や態度を育てていきたい。

<本時の位置付け>

5月の教材「なかよくね」では、学校内での集団生活において、「友達を遊びに誘ったり誘われたら一緒に遊んだりすると、みんなが笑顔になれる」ということを学んだ。その後、自分から声を掛けたり声を掛けられたら仲間に入れたりして遊ぶことができるようになってきた。また、学習中は、「グループで一緒に活動すると楽しい」と助け合うよさを実感できるようにもなった。これらの姿から、「友情, 信頼」についての価値の大切さを実感できてきている様子がうかがえる。

本時は、友達を大切にするのが簡単にはできない状況で、どのように考えると困っている友達によりよい助けができるかを考える場である。ここで、双方向に聴き合うことは、「分かっているのにしない」のは、なぜいけないかを考えていく過程で多面的・多角的に価値の検討を行い、「友情, 信頼」についての価値をさらに深く考えていくことができるようになる。また、その解決策をみんなで具体的に考えていくことで、日常生活で判断する力を培うことができる。だからこそ、価値の検討の場面と解決策を具体的に考える場面で、双方向に聴き合う場を設定した。

<教材について>

教材は、主人公みそさざいが、やまがらのお誕生会に行くか、うぐいすの家での発表会の練習に行くかについて悩み、一度は発表会の練習に行くが、練習をそっと抜け出してやまがらの家に行き、二人で誕生会を祝うという内容である。みそさざいの行動は、やまがらのことを考えたよい行動と言えるが、相手のやまがらにとっては、次の点について十分な姿とは言えないと考える。

- ① 二人だけの誕生会ではなく、みんなでお誕生日をお祝いする。
- ② みそさざいだけでなく、他の小鳥たちもやまがらのお誕生会に思いを向ける。
- ③ 学級の友達として、やまがらも発表会の練習に参加する。

これらの3点を考えさせることにより、友達を大切にするということについての考えを深めさせることができる。また、登場人物である鳥の名前が覚えにくいいため、やまがらをやまさん、みそさざいをみいさん、うぐいすをすうさんと名付ける。

<特に関連する内容>

- ・生活科「あそびにいこうよ③～あそびのひろば～」【問題解決力・論理的思考力】

<本時のねらい>

困っていたり悲しんでいたりする友達に思いを向けて助ける大切さについて、「分かっているのにしない」のがいけない理由をグループで聴き合わせたり、自分ができそうな友達を大切にしている行動の仕方を判断させたりすることを通して、道徳的価値の理解を深め、友達を大切にしようとする判断力と態度を育てる。

<本時までの学び（子どもの実態 C0）>

「困っている友達を助けることの大切さ」は観念的に知っている。しかし、友情の意義や本質について深く考える機会はまだまだ多くない。実際にどうしたらいいかを考えたり助けたりできる子どもは数人であり、友達が困っている姿を見ても、「助けなければならない」という思いがもてなかったり、どう行動すると助けたことになるのかを考えられなかったりする子どもが多い。

<優れた学習課題を設定するための手立て>

- ① 授業者が子どもたちに問い掛けながら教材を提示し、自我関与をさせやすくする。
- ② 2人のお誕生会が大成功と言えるかについて、心のもさし（大成功-成功）に丸を付けさせ、丸の位置が違うことから友達とのズレを生み、子どもの思いを揺さぶる。また、「『分かっているのにしない』ことがあっても仕方のないときがあるのではないか」と再度子どもの思いを揺さぶる。

<本時の学習課題>

「分かっているのにしない」のは、なぜいけないのかな。

<双方向に聴き合う姿を促す手立て>

- ① グループでの聴き合いの場を設け、「分かっているのにしない」がいけない理由について考えさせる。
- ② 学級全体で聴き合いの場を設け、声を掛けたり誘ったりして友達に思いを向けて（自分に思いを向けてもらって）嬉しかった気持ちを考えさせる。
- ③ 「こっそり抜け出す」ではなく、よりよいかかわりをするための行動の仕方について考えさせ、演技をしたり観たりした後の感想を聴かせ合う。

<双方向に聴き合う姿>

- 「分かっているのにしない」がいけない理由について、相手の考えや理由を聴き、自分の考えと重ねながら、聴いた感想を自分の言葉で話そうとしている姿。
- 「こっそり抜け出す」ではなく、よりよいかかわりをするための行動の仕方を考えながら役割演技をしたり観たりし、自分の納得する解決策を見付けようとしている姿。

<本時のまとめ>

ともだちを、とてもかなしいきもちにさせるから。

<聴き合って解決したことのよさを自覚させる手立て>

振り返りカードで、振り返る視点（1.本時の学びの納得の度合い 2.1のように考える理由）を示して自分の思いを書かせる。また、意欲の高まり（◎○△）とどの聴き合いでよく分かるようになったか（1.グループ 2.全体 3.その他）について当てはまる選択肢に丸を付けさせる。

<本時で目指す最終の子どもの姿（Cn）>

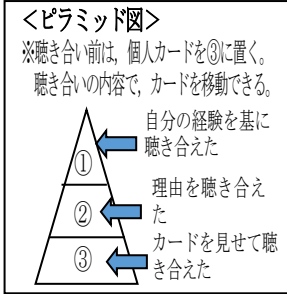
困っていたり悲しんでいたりする友達に思いを向けて、助けることが大切であるとともに、自分のできる方法で、友達を大切にしている行動の仕方があることが分かり、相手の立場に立って仲よくするよさを考えて、これからの学校生活に生かそうとする意欲を高めている。

<本時の評価>

友達を大切にすることが簡単にはできない状況でも、困っている友達に思いを向けないことは友達を大切にできていないことが分かる。（振り返りの記述で評価する）

A評価：友達に思いを向けるのが大切であることが分かり、困ったり悲しんだりしている友達に声を掛けたり誘ったりすることのよさについて、自分の経験や役割演技の様子を基に記述している。

B評価：友達に思いを向けるのが大切であることについて記述している。

学習活動	教師の働き掛け・予想される児童の反応	■評価・○留意点等
<p><導入> 1. 課題をつかむ。(15分)</p>	<p>○授業者の問い掛けは、子どもが話しやすい雰囲気をつくるために柔らかい言い回しにする。</p> <p>T1 今日は、主人公みいさん、友達のやまさんとすうさんほか、たくさんの小鳥たちのお話を基に考えていきます。小鳥たちは、私たち1年2組と同じようにみんな友達です。 【教材を提示】</p> <p>T2 みいさんが1人で友達のやまさんのところへ行って、やまさんと2人でお祝いした2人のお誕生会は、大成功と言えるでしょうか。</p> <p>C1 大成功。 C2 成功だけど、「もう少し」もある。 T3 みんなが付けた丸を見て回ったら、みんなの気持ちはばらばらです。 C3 大成功だと思う。だって、2人が笑顔だから。 C4 成功。だって、2人だけしか笑顔でないから。他の人はお祝いしていない。 C5 ほかほかは、分かっているのにしていない。 T4 練習も大事だから、今回の「分かっているのにしない」はしなくても仕方がないのではないのでしょうか。 C6 練習のためでも、しないのはだめ。</p> <p><学習課題> 「わかっているのにしない」のは、なぜいけないのかな。</p>	<p>○登場人物の名前の混乱を防ぐため、みそさざいをみいさん、やまがらをやまさん、うぐいすをすうさんとする。また、T1の働き掛けと同時に挿絵を黒板に貼り、「ともだち」と板書する。</p> <p>○教材はテレビに映し、授業者が問い掛け心情を確認しながら提示する。</p> <p>①みいさんが、どちらに行こうか悩む気持ち。 ②やまさんだけが練習に参加していないこと、1人で家にいる気持ち。 ③みいさんがやまさんを気遣っている気持ち。また、他の友達はやまさんのことを全く考えていないこと。 ④みいさんがそっと抜け出し、やまさんのところに行ったこと。2人のお誕生会で笑顔になれたこと。</p> <p>○心のものさしカードを配り、2人のお誕生会が大成功と言えるかについて、「大成功」「成功」に丸を付けさせる。</p> <p>○数人につぶやかさせ、大成功に丸を付けた子どもの思いを揺さぶる。</p> <p>○やまさんに対して、すうさんや小鳥たちは、友達に思いを向けていないことに気付かせ、それを「分かっているのにしない」等、子どもの言葉で確認する。</p> <p>○今回の「分かっているのにしない」は、練習も大切だから仕方がないことだと子どもの思いを再度揺さぶる。</p> <p>○「分かっているのにしない」等の子どもの言葉を基に学習課題を設定する。</p>
<p><展開> 2. 教材を基に考える。(20分)</p>	<p>T5 どうして「分かっているのにしない」のはいけないのでしょうか。</p> <p>C7 だって、無視されたみたいで悲しくなるから。次に会ったときに笑顔になれないから。私も遊ぶ約束をしたときに誰も来なくて悲しかったことがある。(相手の立場)</p> <p>C8 だって、後から思い出して、嫌な気持ちになるから。ぼくも習い事に行ったときに、後から嫌な気持ちになったことがある。(自分の立場)</p> <p>C9 だって、分かっているのにしない人ばかりのクラスは笑顔がなくて居たくないから。(集団としての立場)</p> <p><聴き合いの方法> ①私は、〇〇だと思います。 ②どうしてそう思うの。 ③だって、□□だからです。 +「～ことがあったの。」 (自分の経験を根拠に) ④ぼくも同じ。/私は少し違うよ。</p> <p><ピラミッド図> ※聴き合い前は、個人カードを③に置く。 聴き合いの内容で、カードを移動できる。</p>  <p>T6 みなさんは、困っていたり1人でいたりした友達に、何かして笑顔にできたことはありますか。</p>	<p>★本時で働かせる見方・考え方 ・道徳的価値「友情・信頼」の意義や本質を多面的・多角的(自分、相手、周りのみんなの立場)に考える。</p> <p>○個人で理由を書く時間を取った後で、グループで聴き合う時間を取る。</p> <p>○聴き合いを促すために、グループでピラミッド図を用いて聴き合いの可視化をさせる。</p> <p>○授業者は、個人カードの記述や聴き合いの様子を見ながら、全体での話合いの柱となる意見を整理しておく。</p> <p>○グループの聴き合いの後、学級全体で話し合う。意見は授業者が紹介し、子どもが補足しながら、その根拠を聴き合わせるしていく。</p> <p>○立場を変えた意見が複数ない場合は、授業者から問い掛けて、複数の見方で考えさせる。また、自分の立場の考えではなくても「そのことについてどう思うか」「その気持ちが分かるか」を問い、納得の度合いを確認させていく。</p> <p>○板書は、どの立場の意見なのかが分かるように整理する。</p> <p>○困っている友達を笑顔にできた経験が出にくければ、自分がされて笑顔になった経験を問う。全体の聴き合いの後、ペア</p>

	<p>C10 あった。1人である友達に「一緒に遊ぼう。」と誘って友達も自分も笑顔になった。</p> <p>C11 あった。自分が1人で困っていたときに、「一緒にやろう。」と言われて嬉しかった。</p> <p>C12 「分かっているのにしない」は、友達をととても悲しくさせる。</p> <p><まとめ> ともだちを、とてもかなしいきもちにさせるから。</p> <p>T7 みいさんが練習をこっそり抜け出すところで、どうすると友達のやまさんを笑顔にできそうですか。</p> <p>C13 誘う。声を掛ける。</p> <p>T8 何と声を掛けたり誘ったりするとよいでしょうか。</p> <p>C14 すうさんと他の小鳥たちに、「やまさんの所についてお誕生日のお祝いしよう。」と誘う。</p> <p>C15 やまさんを迎えに行って、「一緒に練習をしよう」と誘って、その後、みんなでお誕生日のお祝いをする。</p> <p>T9 みんなで考えた方法が、友達を本当に笑顔にできるか、劇で試してみよう。</p> <p>C16 (観た人)誘ったら、友達を笑顔にできた。みんなを笑顔にできた。</p> <p>C17 (した人)できた。だって、みんなを誘ったら、みんな喜んでくれたから。できるといい気持ちになる。</p> <p>C18 困っている友達を笑顔にするには、相手や周りに声を掛けて誘うといい。</p>	<p>でも聴き合わせる。</p> <p>★本時で働かせる見方・考え方</p> <p>・経験を基に、友達を大切にすることを実現するための具体的な行動の仕方を考える。</p> <p>○「分かっているのにしない」は、友達をととても悲しい気持ちにさせることを確認し、「とても悲しい気持ち」と板書する。</p> <p>○分かっているのにしない姿があったから、2人のお誕生日会が大成功だと思えなかったことを押さえる。</p> <p>○「友達」「とても悲しい気持ち」等、子どもの言葉を基にまとめる。</p> <p>○全体に問い掛けたり、ペアで考えを出し合ったりさせる。</p> <p>○やまさんも含めてみんなで練習することの大切さに気付かない場合は、授業者から問い掛ける。</p> <p>○「みんなでやまさんのお誕生日をお祝いできる声掛け」と「やまさんも一緒に発表会の練習に誘う」ことの2つを押さえる。</p> <p>○みい役とすう役、ほかの小鳥たちを代表の子ども(1~2組)に役割演技させる。すうさんは、授業者が演技する。</p> <p>○演技後、まず劇を観た人、次に演技した人の立場から感想を聴き、表情の変化や全体の雰囲気視点を振り返らせる。</p> <p>○困っている友達や周りの友達に声を掛けたり誘ったりすると、みんな笑顔になれることを確認する。</p>
<p><終末> 3. 振り返る。(10分)</p>	<p>T10 あなたは、今日の学習の内容がどれくらい分かりましたか。顔絵を塗って、それを選んだ理由を書きましょう。</p> <p>C19 ぱっちり分かった。だって、分かっているのにしないのは、友達をととても悲しませることが分かったから。自分も学校でそういうことがあった。劇を見てそう思った。 (選択肢より)みんなとの聴き合いで分かった。</p> <p>C20 分かった。だって、分かっているのにしないのは友達をととても悲しませることが分かったから。 (選択肢より)グループの聴き合いで分かった。</p>	<p>○本時の学びの納得の度合いを3段階の顔絵の1つに色を塗って表し、選んだ理由を指示する。</p> <p>■顔絵の色塗りと振り返りの記述を基に評価する。</p> <p>◆検証 振り返りの記述で、自分の考えに理由付けができた姿は、論理的思考力が発揮した姿とする。</p>

<板書計画>

11/30

おたしじまかいの準備

おたしじまかいの進行

2人のおたしじまかい

1人でおたしじまかい

おたしじまかい

おたしじまかいの準備

おたしじまかいの進行

おたしじまかいの準備

おたしじまかいの進行

おたしじまかいの準備

おたしじまかいの進行